

北條民雄 ほつじょう たけお 小説家。大正二年九月二十一日京城生まれ、昭和十一年十一月五日歿（九四一七）。本名七條晃司。別名秩父號一。父の任地で生れ、母の生家（徳島）に育つ。左翼文學の影響下文學を志すと、昭和八年癩癩病し入院。加藤中書い九作品を川端康成に送り、その助力で發表した『いんちの初夜』が注目を浴び、異色の新人作家として認められると、夭逝。

著書『いんちの初夜』（昭和十一年十二月二日創元社）、『新日本文

學全集・第四卷』牧野信一集・梶井基次郎集『嘉村穠多集・北條民雄集』（昭和十七年五月四日

改造社）、『北條民雄集』（昭和二十二年九月二十日創元社）『創元選

書』、『北條民雄集』（中村光夫編、昭和二十六年二月五日新潮社

『新潮文庫』）、『いんちの初夜』（改版初版、昭和四十五年一月十

五日角川書店）『角川文庫』）等。

文獻、光岡良二著『いんちの火影』北條民雄覚之書』（昭和四十五年

七月五日新潮社）等。

